劉 綺紋 LIU Ch'i-wen

教員の教育・研究活動報告

役職／職名	教授	所属	外国語学部 中国語学科
ふりがな	リウ チィウェン	生年	1967年
学歴	奈良教育大学大学院教育学研究科修士課程国語教育専攻修了 大阪大学大学院言語文化研究科博士後期課程言語文化学専攻修了		
学位	修士（教育学）［1996年 奈良教育大学］、博士（言語文化学）［2004年 大阪大学］		
研究分野	台湾、台湾語学、中国語学、認知言語学		
研究テーマ	台湾の歴史・文化・経済		

主な研究業績

著書

題名	単・共	発行日	発行所名	備考
《知性与创造:日中学者的思考》	共	2005年12月	中国社会科学出版社	
『中国語のアスペクトとモダリティ』	単	2006年 2月	大阪大学出版会	

学術論文

題名	単・共	発行・発表日	発行雑誌又は発行学会等の名称	備考
「語気助詞“了”のモダリティー機能――アスペクトからモダリティーへ――」	共	2003年 4月	『(言語文化共同研究プロジェクト2002)言語における時空をめぐって』	
「程度表現における“了”――“了”のモダリティ機能とアスペクト機能との認知的一体性――」	単	2005年 3月	『大阪大学言語文化学』第14号, 大阪大学言語文化学会	
「“了”はなぜ<もうすぐ変化>を表せるのか？――認知的アプローチ――」	単	2005年12月	『中国研究集刊』第38号, 大阪大学中国学会	
「中国語の“了”と文終止――認知コミュニケーションの観点から――」	単	2006年 3月	『大阪大学言語文化学』第15号, 大阪大学言語文化学会	
「中国語ではなぜ“吃了飯嗎？”ではなく“吃飯了嗎？”と挨拶するのか？――中国語における“了”の文終止問題――」	単	2007年 6月	『KLS』27, Kansai Liuguistic Society.	
「台湾語の“來去（LÂI-KHÌ）”の概念と意味」	単	2016年8月	『名古屋外国語大学外国語学部紀要』第51号	
「主体化の観点からみた台湾語の“來（LÂI）”と中国語の“來（LÁI）”の〈積極性〉――台湾語を中心に――」	単	2018年2月	『名古屋外国語大学論集』第2号	

学会発表等

題名	単・共	発行・発表日	発行学会等の名称	備考
「未実現の“了”――事態制御文を中心に――」	単	2005年 6月	大阪大学言語文化学会第28回大会，大阪大学	
「認知的観点からみた「もうすぐ実現」の“了”」	単	2005年10月	日本中国語学会第55回全国大会, 筑波大学	
「中国語ではなぜ“吃了飯嗎？”ではなく“吃飯了嗎？”と挨拶するのか――中国語における“了”の文終止問題――」	単	2006年 6月	関西言語学会第31回大会, 甲南大学	
「“了”の<限界達成>とは何か？――アスペクトからモダリティへ――」	単	2006年 9月	西南言語対照研究会, 2006年9月例会, 西南学院大学	
「“了”の文終止問題――談話と認知の観点からのアプローチ――」	単	2006年 10月	日本中国語学会第56回全国大会, 愛知県立大学	

主な教育上の業績

大学教育の改善に関する活動

活動事項	年月	備考
動機付けの強化と自主学習を促進させるための参加型授業の実施	2006年4月～現在	

作成した教科書

教科書名（対象講義名）	単・共	年月	備考
『中国語はじめの1000語』（名古屋外国語大学出版会）	共	2017年8月	

主な職務上の業績

資格・免許

資格・免許の名称	取得年月	発行者・登録番号	備考
日本語能力試験1級合格	1992年12月	国際交流基金と日本国際教育支援機構	

所属学会

所属学会名称

所属学会名称
大阪大学中国学会

主な職歴

期間（年月）	事項	備考
1999年4月～2005年9月	岐阜経済大学非常勤講師（中国語担当）	
2003年4月～2005年3月	平安女学院大学非常勤講師（中国語担当）	
2005年4月～2006年3月	大阪大学非常勤講師（中国語担当）	
2006年4月～2007年3月	名古屋外国語大学外国語学部中国語学科助教授	
2007年4月～2022年3月	名古屋外国語大学外国語学部中国語学科准教授	
2022年4月～現在	名古屋外国語大学外国語学部中国語学科教授	

科学研究費等外部資金採択実績

名称	題名	機関名（採択時）	年度	備考
平成17年度科学研究費補助金研究成果公開促進費	中国語のアスペクトとモダリティ	日本学術振興会	2006年	

主な担当科目と授業の改善と工夫

主な担当科目名 対象学部・学科

担当科目名	対象学部・学科
中国語E-1（総合演習）	外国語学部 中国語学科
中国語E-2（総合演習）	外国語学部 中国語学科
中国語E-3（総合演習）	外国語学部 中国語学科
中国語E-4（総合演習）	外国語学部 中国語学科
中国語B-5（上級）	外国語学部 中国語学科
中文研ゼミナールG-1（台湾研究）	外国語学部 中国語学科
中文研ゼミナールG-2（台湾研究）	外国語学部 中国語学科
中国語学	外国語学部 中国語学科

授業の改善と工夫

改善と工夫内容
「動機付けの強化と自主学習を促進させるための参加型授業の実施」 　ゼミなどでは、発表とディスカッション形式で授業を進めている。中国語の授業においては、毎回質問を受け付けたり小テストを実施したりするなど、常に受講生の理解度を把握しながら、学習内容の定着を図っている。
「学生による授業評価の活用」　授業の進め方や内容についての質問などを、口頭あるいは電子メール、Google Classroomなどで受け付け、それを個別に回答しさらに授業に反映させている。